


もちつき交流会

今年もお腹いっぱい楽しもう！
11月26日(日)
11:30~
 支部会館1階にて



けんせつ

清瀬久留米

発行所
東京土建一般労働組合
清瀬久留米支部機関紙
 〒203-0054 東久留米市中央町5-10-17
 TEL 042-473-8751
 FAX 042-473-8753
 発行者 尾 芦 富 雄
 編集者 砂 川 恵



来年もやろう！

KIYOKURUSKURU



最近、年の近い仲間の役員が増えてきた。青年部時代から長く組合に関わっている仲間もいるし、最近役員になった仲間もいます。この数年は全世代が集まる様々なイベントを皆で企画し、支部の運動を盛り上げてきました。ここらで一息、皆で組合の事を勉強してみたいのかなと考えました。楽しいイベントはともかく、そもそもなんで組合には『運動』があつて、署名したりハガキを書いたり、ミーデーに参加したり、仲間を増やしたりするんだらうか。『仲間の「なぜ？」に答えます』をキヤッチフレーズに、KIYOKURUSKURU開催を呼びかけました。提案に対しては、仲間内でも役員会議でも「や



真剣な眼差しで講義に聞き入る

ろうやろう！」と違和感なく決まりました。イベントを通して『組合の仲間と集まって、何かするのは楽しい』という気持ちが皆の中に芽生えているんだと思う。講師の先生にも「なるべく分かりやすく！」とお願ひしていましたが、組合運動の歴史から、現代日本の経済・情勢、これからの運



情勢についての講義では仲間からの質問も多く出された



映像を使って軽快に解説する福島副所長

労災事故が増えています

支部安全大会

9月22日(金)に支部で初となる安全大会を開催し、22人の参加がありました。三鷹労働基準監督署の福島副所長と本部労働対策部高見副主任書記を招いて、約1時間半の開催で、約1時間半の開催で、

福島の映像を使って、現場に潜む危険性に関する話で、後半は現場でケガをしない為の行動やケガをした場合の対応方法などを講演していただきました。次に高見書記からは、労働衛生についての講演がありました。現場労働者の健康と安全を守る為、事業主

今年5回目となる福島復興支援住宅デーに、多摩北ブロック青年部の仲間と行ってきました。会場に着く前に、地元の方の話が聞きました。鮭の養殖場の方が、震災前と震災後の状況を、写真を見せながら説明してくれました。4年間開催したいわき市の仮設住宅が、無くなり、今、町、町の皆さんと前日の準備。笑顔の柳橋さん(中央)がある集会所で、住宅デーも行きたいと思えます。来年も行きたいと思えます。



鮭の養殖場の方から話を聞く青年部の仲間



広野町の皆さんと前日の準備。笑顔の柳橋さん(中央)

の仮設住宅が、無くなり、今、町、町の皆さんと前日の準備。笑顔の柳橋さん(中央)がある集会所で、住宅デーも行きたいと思えます。来年も行きたいと思えます。

元気をもらった

北ブロック青年部

今年5回目となる福島復興支援住宅デーに、多摩北ブロック青年部の仲間と行ってきました。会場に着く前に、地元の方の話が聞きました。鮭の養殖場の方が、震災前と震災後の状況を、写真を見せながら説明してくれました。4年間開催したいわき市の仮設住宅が、無くなり、今、町、町の皆さんと前日の準備。笑顔の柳橋さん(中央)がある集会所で、住宅デーも行きたいと思えます。来年も行きたいと思えます。



挨拶する川村さん「今後の運動に役立てよう」

川村裕也



丁寧なアンケート結果の説明だが仲間の実態とは違い

10月20日(金)支部では初めての交渉先となる東洋建設(株)との交渉に、支部から5人で参加しました。事前に企業側で行った賃金アンケートの結果がスライドで報告されましたが、1時間20分もかかり、質問時間は40分しかありませんでした。法定福利費が請求された際の支払いはどの質問に、出来高に応じてと回答。しかも、一次下請だけで、それより下に関してはまったく分からないとのこと。我々の仲間はほとんどが2次以下、その回答が聞き取ったのに。誰のための交渉なのか。そろそろ戦術を変えていかないと。

滝山分会 高橋哲也

説明を受けたパネル写真には震災直後の甚大な被害の様子が写されていた



建設業に法定福利費確保を
 大手企業交渉

来場者 100 人以上の大賑わい 初挑戦の黒板作りも盛況

10月8日(日) 西部地域 西都保健生協による健康センター前にて、滝山分会 センターにて、滝山分会の住宅デーを開催しました。滝山分会16人、他分会の協力者32人で朝早くから会場設営を始めました。

他にもお馴染み木工教室や綿あめ、フランクフルトなどを出店。親子連れ、土建の仲間など多くの人で賑わいました。今年は春・秋二度の開催で大変忙しかったのですが、来場者100人以上！みなさんの協力で大成功しました。ありがとうございました。



右：小さい子供はやっぱり水ヨロヨロが大好き
上：専用の塗料を使った黒板作りも大人気



青空分会が企画した畳コースター作り挑戦する親子



定番となった木工教室は不動の人気。指導しているのは北浅分会の五十嵐さん

カゼひきませんでしたか!?

元塩・松竹分会しゅう

10月1日(日) 芦ヶ久保国際マス釣り場にて、清瀬地区労主権のマス釣り&BBQに参加しました。恒例になりつつあるイベントですが、今回は他分会の方も多数参加してください、土建からは大人38人、子ども12人の参加で全体で80人。とても賑やかに始まりました。



撮影：尾芦富雄

土建の人達はいつも親切

10月15日(日) 清瀬市民まつりが、清瀬駅北口で開催されました。支部の仲間8人で参加しました。前々日からの雨が上がり、あいにくの天気となりました。

ですが、来場者100人以上！みなさんの協力で大成功しました。ありがとうございました。

土建のテントは住宅相談を行い、住宅センターのチラシ入りのティッシュを配布しました。メインの企画は子供向けのカンナ削り体験が用意されました。カンナ削り体験は、香りで人を



カンナを使い自分で削ったヒノキをお土産に「良いにおい!」



大物が釣れたかな? 撮影：尾芦富雄

『荒牧りんご園』

南町分会バスしゅう

進み、最初の目的地『日光東照宮』へ。ガイドさんについて説明を受けながら、1時間半かけて散策。噂のサル目、みなさん分かりました?そこから歩いて昼食会場へ。湯葉も栗ご飯も美味しかった、若い方には物足りなかつたかしら。次は手焼きせんべい体験。1人2枚を担当して、ちよこちよこひっくり返しながら。きれいに焼けた人、焦げてしまつた人。タレに付けてしばらく置いたら完成。良いお土産になりました。



た人。タレに付けてしばらく置いたら完成。良いお土産になりました。

10月1日(日) 7時集合、お天気も良く、最年少は小学6年生、上は...、皆集まり出発。バスはスムーズに



南町分会 小坂悦子

湧水

近頃の若い者は...

「近頃の若い者は...」ピラミッドの石にも刻まれていたというこの言葉、私も最近、気が付くについで使っている様な気がします。しかしながら振り返ればコンビニの入口で手押し車を引くお年寄りを気遣いドアを押さえてあげる若者。車の運転中狭い道でのすれ違いで道を譲ってくれる若者。一方で他人が開けたドアをまるで自動ドアの様に平然と通り抜ける中年の男性や、新聞だけだからとレジ待ちの列を無視する初老の男性等々。結局、歳とは何も関係無いのでしようね。少しだけ長く生きた事を偉いと勘違いしているかの様な、若者に対するこの言葉、今一度改めて考え直さなければいけない。そう感じる事が多くなった様に思います。



元塩分会 望月慎一郎